

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
及び地域公共交通計画の評価結果 概要（全体）

袋井市地域公共交通会議 袋井市

平成19年9月26日設置

令和3年3月 袋井市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和3年4月～令和8年3月)

令和4年6月15日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和4年6月15日 令和3年度評価結果送付

1. 【Plan】 協議会等が目指す地域公共交通の姿

袋井市の概要

- ・人口 88,579人(R4.11.1時点)
- ・市域 108.33km²
- ・全域都市計画区域(非線引き)

鉄道	JR東海道本線 (袋井駅・愛野駅)	公共交通の東西軸
民間路線バス	秋葉バスサービス(株) (秋葉線・秋葉中遠線等)	公共交通の南北軸 基幹バス路線に位置付け
自主運行バス	北部・南部の循環路線	基幹バス路線を補完
デマンドタクシー (予約型乗合)	ドア・ツー・ドア型 停留所型の運行	都市拠点や地域拠点と接続
乗用タクシー	市内タクシー事業者2社	-

袋井市地域公共交通計画 (R3~R7)

基本方針

そうだ!!公共交通があるね!
公共交通が移動手段として選ばれるまち



- 【目標1】市民に日常から認識してもらえる公共交通
- 【目標2】高齢者や高校生に移動手段として選んでもらえる公共交通
- 【目標3】地域で支え合う公共交通



計画で実現を目指す
公共交通ネットワークのイメージ図

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

市内高校への通学利用の確保・維持

★フィーダー補助受給系統

【袋井駅・中東遠総合医療センター線の経路変更】

袋井高校を経由するルートに変更し、高校生の通学利用が可能な時間に運行ダイヤを一部改正して運行を開始した。(R3.4月～)

【市内高校生へのチラシ配付】

市内高校(袋井高校・袋井商業高校)で実施された「中学生の1日体験入学」に合わせてチラシを作成し、高校入学の際にバス通学を検討する契機とするため、来校者(中学生・保護者)に対して入学案内と併せて配付した。
(在校生に対する案内も併せて実施)



高校の通学利用に加え、中東遠総合医療センターの利用も回復した。

利用者数 増加
目標達成

地域主体の移動手段の確保

【「(仮称)地域タクシー」の導入に向けた協議、試験運行の実施】

地域主体の新たな移動手段である(仮称)地域タクシーの導入に向け、集中支援地区として計画に位置付けている袋井東地区において、地域での勉強会や運行方法の検討を進め、試験運行を実施した。
(第1弾: R4.1月～3月 第2弾: R4.9月～11月)



地域での関心が高まり、継続的な実施を望む声も多い。今後、本格運行や他地区での検討も進めていく。

路線バスの情報化・バス停待合環境の改善

【バスロケーションシステムの導入】(秋葉バス)

スマートフォン等でバスの位置情報がわかるバスロケーションシステムを全車両に搭載し、バスの運行情報(遅延情報)の確認が可能となった。

【デジタルサイネージの設置】


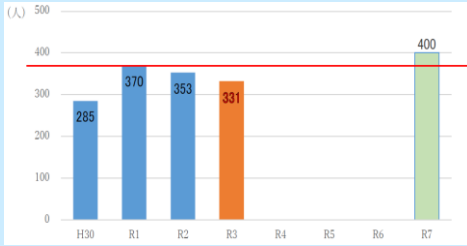
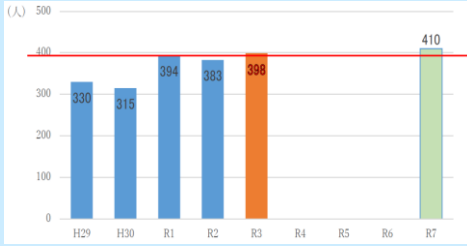
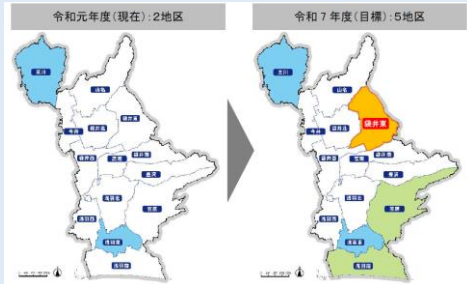
主要な拠点において、運行情報を表示するデジタルサイネージを設置し、利便性と認識性の向上を図る。(一部予定)



運行情報を多く発信していくことで、利便性向上や認識される機会を増やし、新たな利用者の確保にも繋げていく。

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

計画目標	評価指標 目標値	達成状況					考察
		1年目 (R3)	2年目 (R4)	3年目 (R5)	4年目 (R6)	5年目 (R7)	
【目標1】 市民に日常から 認識してもらえる 公共交通	路線バス等の 年間利用回数 約31.7万回/年 (R1) ↓ 32.8万回/年	288,688回	-	-	-	-	目標は未達成だが、路線改変による高校の通学利用も一部加わり、R2比では増加した。 (R2: 282,484回/年)
【目標2】 高齢者や高校生に 移動手段として 選んでもらえる 公共交通	運転免許証の 自主返納者数 353人/年 (R2) ↓ 400人/年	331人	-	-	-	-	令和元年度をピークに減少傾向にあり、免許返納に伴う運転免許経歴証明書を発行せず、失効する方も一定数いると考えられる。
	路線バスの 通学定期券の 利用人数 394人/年 (R1) ↓ 410人/年	398人	-	-	-	-	路線変更やダイヤ改正により、利用人数は増加した。 (R2年度: 383人)
【目標3】 地域で支え合う 公共交通	地域主体による 移動手段の 運行地区数 2地区 (R1) ↓ 5地区	3地区	-	-	-	-	(仮称) 地域タクシーの試験運行を実施した袋井東地区を追加し1地区増とした。

計画目標	計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
<p>【目標1】 市民に日常から認識してもらえる公共交通</p>	<p>基準年(R1)からはコロナ禍の影響により減少しているが、近年の利用者数は回復傾向にある。</p> 	<p>袋井駅南の商業施設からの利用など新規利用者の取り込みに向け、更なるPR活動や周知方法の改善を実施する。</p>
<p>【目標2】 高齢者や高校生に移動手段として選んでもらえる公共交通</p>	<p>返納者数が大きく上昇した令和元年度からは減少傾向となっている。</p>  <p>経路変更やダイヤ改正も起因し、コロナ禍においても通学定期券の利用者は横ばいで推移している。</p> 	<p>公共交通の利用促進に加え、高齢者の運転免許更新が厳格化されたことも踏まえ、制度の周知とともに、引き続き免許証の返納の促進を図る。</p> <p>高校や近隣市町と連携した周知を行うとともに、通学を控えた中学生向けへのPR活動も併せて実施していく。</p>
<p>【目標3】 地域で支え合う公共交通</p>	<p>既存の地域に加え、集中支援地区として位置づける地域を中心に検討を進めている。</p> 	<p>試験運行した袋井東地区において、運行方法の改善を図った上で令和5年4月から運行を再開する。</p> <p>また、他地区においても勉強会の開催やニーズ調査の実施など、導入の可能性を検討する。</p>

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	【評価できる取組】 袋井駅・中東遠総合医療センター線のルート変更による利用者増	高校や市内中学校と連携し、バス通学のチラシを配付するなど、利用啓発を実施した。	更なる利用啓発や停留所の新設
	【期待する取組】 ①計画に基づいた公共交通サービスの維持・改善 ②デマンドタクシーの目標利用者数達成 ③地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を関係者間で共有し、利用促進など連携した取組の推進	①計画に位置付けられた各事業を順次遂行し、利便性向上等を図った。 ②今後に向けた意見聴取を実施し、見直し案を作成した。 ③系統毎の評価に加え、停留所別の利用状況を検証したほか、利用者の多い高校生を対象とした利用啓発を実施し、利用者数増加を図った。	①引き続き計画に基づいた事業を中心に、公共交通サービスの向上に向けた各事業を実施する。 ②既存の運行のうち、2路線を廃止するとともに、更なる周知により他路線の利用者数の増加を図る。 ③利用啓発を継続するとともに、系統の見直しなどを見据えた運行や利用状況の検証を行う。
前々回	【期待する取組】 地域公共交通計画に位置付けた取組の着実な推進	令和3年3月に地域公共交通計画を策定し、位置付けた取組を順次実施した。	上記①に同じ

※前回：令和4年3月10日、前々回：令和3年3月1日

【計画の評価スケジュール】																					
		R3 年度 (2021)				R4 年度 (2022)				R5 年度 (2023)				R6 年度 (2024)				R7 年度 (2025)			
		4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
計画策定 (Plan)		→ 次年度事業 検討				→ 次年度事業 検討				→ 次年度事業 検討				→ 次年度事業 検討				→ 計画見直し			
事業実施 (Do)		→ 事業実施				→ 事業実施				→ 事業実施				→ 事業実施				→ 事業実施			
事業評価 (Check)		→ 今年度事業 評価・検証				→ 今年度事業 評価・検証				→ 今年度事業 評価・検証				→ 今年度事業 評価・検証				→ 今年度事業 評価・検証			
計画・事業見直し・ 改善 (Action)		→ 事業 見直し				→ 事業 見直し				→ 事業 見直し				→ 事業 見直し				→ 事業 見直し			
国庫補助対象事 業の計画・評価		●	◆			●	◆			●	◆			●	◆			●	◆		
		確保維持		第三者		確保維持		第三者		確保維持		第三者		確保維持		第三者		確保維持		第三者	
		改善計画		評価		改善計画		評価		改善計画		評価		改善計画		評価		改善計画		評価	
袋井市地域公共 交通会議		①	②	③		①	②	③		①	②	③		①	②	③		①	②	③	

【袋井市地域公共交通会議の開催状況(令和4年度)】

開催時期		主な議題
第1回	令和4年6月2日	・袋井市地域公共交通計画の数値目標の評価・事業計画について ・生活交通確保維持改善計画について
第2回	令和4年8月9日	・令和5年度からの自主運行バス・デマンドタクシーの運行案について
第3回	令和4年12月21日	・地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4 年 12 月 21 日

協議会名: 袋井市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
秋葉バスサービス(株)	袋井駅・中東遠総合医療センター線	令和3年4月より高校生の通学利用が可能となるよう運行経路や時刻を改正したことにより、新たな利用者の獲得にも努めた。	A 計画どおり実施された。	A 目標利用者数:47.5人/日 実績数:49.8人/日	市内から中東遠総合医療センターへの公共交通として、H25.5月から運行を開始し、R3.4月の運行経路等の改正により高校生の利用も一定数見込まれることから、今後、事業者や高校と連携した周知の継続など利用促進に向けた取組を進める。 また、現在の運行経路上に新たに停留所を追加し、更なる利用者数増加を図る。
遠鉄タクシー(株)	以下の路線・地区において、予約型乗合(デマンド)タクシーを運行 <宇刈地区> <浅羽南地区> <浅羽西地区> <山梨・中東遠総合医療センター線> <浅羽・中東遠総合医療センター線>	利用状況について検証し、運行方法再編の検討を進めた。	A 計画どおり実施された。	<宇刈地区> 目標利用者数:3.4人/日 →実績2.4人/日 <浅羽南地区> 目標利用者数:3.2人/日 →実績2.5人/日 <浅羽西地区> 目標利用者数:2.1人/日 →実績1.5人/日 <山梨・中東遠総合医療センター線> 目標利用者数:2.5人 →実績:1.9人/日 <浅羽・中東遠総合医療センター線> 目標利用者数:3.2人 →実績:2.9人 コロナ禍により利用者数が低減して以降、利用者数は低迷している。	山梨・中東遠総合医療センター線及び浅羽・中東遠総合医療センター線は、市内の運行方法再編とともに廃止する。 また、他路線は、袋井駅での接続を可能とすることで、利便性の向上を図り、より多くの利用者に利用方法等の周知を更に実施する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4 年 12 月 21 日

協議会名:	袋井市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>袋井市地域公共交通計画(令和3年3月策定)の基本方針である「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するため、特に高齢者と高校生を対象として、公共交通に対する認識を高めることで、公共交通が必要となった時に気軽に使えるサービスの提供を目指す。</p> <p>上記の基本方針に基づき、以下の目標を定め、「運行」「サービス」「関係者意識」のレベルアップを図る事業に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none">1 市民に日常から認識してもらえる公共交通2 高齢者や高校生に移動手段として選んでもらえる公共交通3 地域で支え合う公共交通

